

事業計画書概要

令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業（ウクライナ復興支援・中東欧諸国等連携強化）

事業名	ドイツ連邦共和国・ウクライナ・ポーランド共和国/装着型サイボーグHAL・神経再生医療・硬膜外脊髄刺激を併用した次世代Cybernetics 治療センター構想実証事業		
企業名	CYBERDYNE株式会社	企業規模	中小企業・中小企業以外
事業形態	FS実証事業 / 実証事業		
事業分野	①情報通信 / ②エネルギー / ③交通 / ④都市基盤 / ⑤医療 / ⑥介護ヘルスケア / ⑦農業・食品 / ⑧廃棄物処理 / ⑨デジタル・プラットフォーム / ⑩その他		
事業規模	事業費総額：73百万円 / 補助対象経費総額：73百万円 / 補助金申請額：49百万円		

事業概要

【商業化時のビジネスモデル】

商業化の際の想定ビジネスモデル

ステークホルダー

サービス/モノの流れ

カネの流れ

その他（技術連携等）

日本

ドイツ・ポーランド・ウクライナなど

利用者

提供者・設備

事業パートナー

患者

治療費

サービス提供

UNBROKEN

CYBERDYNE Inc. (日本)

HAL機器、治療プログラム、教育がキニウム

治療技術と運用支援の移転

Partner in Poland

Partner in Ukraine

CNR

Cyberdyne Care Robotics GmbH

技術ライセンス、品質管理、制度連携

【目的】

- 本事業は、脳神経系疾患を対象とした革新的統合治療センターのウクライナ国内における設立を目的とするものである。

【実施内容・方法】

- 装着型サイボーグHAL（Hybrid Assistive Limb）、再生医療（幹細胞治療）、および硬膜外脊髄刺激（Epidural Spinal Cord Stimulator）を融合した治療モデルを展開し、神経回復・機能再建・社会復帰までを一貫して支援する体制を構築する。
- 日本とポーランドを導入・技術支援拠点とし、HAL・幹細胞治療・硬膜外脊髄刺激を組み合わせた統合治療モデルの臨床検証・研修を行う。その成果をウクライナのパートナー病院に段階的に移管し、現地での持続可能な高度リハビリ拠点構築を目指す。

【主な技術・サービス】

- 本事業で用いる対象技術は、サイバニクス技術に基づく装着型ロボットHALを中核とし、脊髄硬膜外電気刺激療法および再生医療を組み合わせた神経・運動機能回復のための統合治療プログラムである。

【スケジュール】

- 交付決定日～3年間を想定

ウクライナ復興への貢献

- ウクライナ復興においては、脳神経筋系疾患・障害に対する先進医療技術をウクライナに導入し、ウクライナ・リヴィウに所在する「Unbroken」を主要なパートナーとして、同拠点における高度治療の導入・運用支援や現地医療人材の育成を進めることで、戦傷者の社会復帰および医療インフラの復興に貢献し、持続可能な復興支援を実現する。